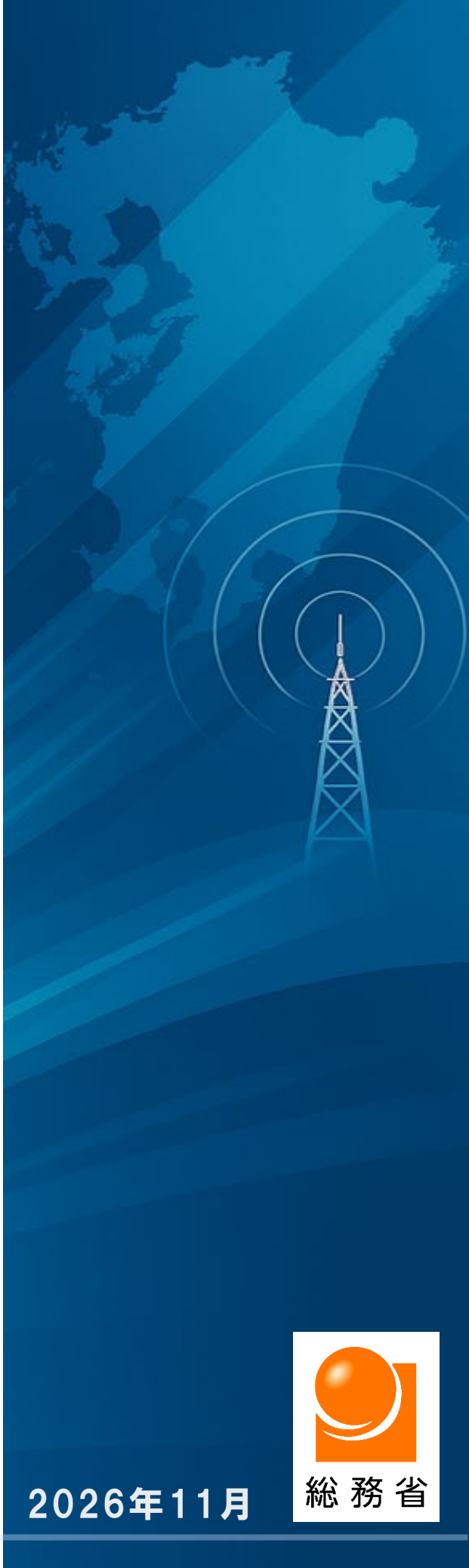
Recruiting
Information

2026年度採用情報

九州総合通信局



2026年11月

総務省

Table of Contents

目次

組織図 2

業務内容 3

先輩からのメッセージ 9

採用後のキャリア 14

福利厚生・ワークライフバランス 15

Q&A 17

所在・採用連絡先 19

About us

組織図

私たちは、情報通信に関する施策の実施機関及び国民の窓口機関として、九州地域7県（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県）における情報化の推進、電気通信の規律・振興、放送の普及・高度化、電波の監理等の業務を行っています。



➢ 九州総合通信局のHPはこちら

Job description

業務内容：総務部

総務部は、職場全体の運営がスムーズに進むよう様々なサポートを行うことで、職員が働きやすい環境を整えるという重要な役割を担っています。

人事管理、広報活動

人事・健康管理、局内ルールの整備、式典運営

職員の採用、研修、給与の支給、福利厚生の管理などを行っています。また、行政文書を適切に管理するための局内ルールの整備、職員の健康管理に関する事務や啓発も行っています。さらに、局内最大の催しである電波の日の式典の準備を局の中心となって行います。

広報活動・局内の情報整理

公式ホームページの作成・公開やSNS運用を通じて、最新情報を発信しています。また、業務に必要な機器の管理や問い合わせ対応を担い、業務の円滑な運用を支えています。その他にも、業務に関連する報道内容や各課の連絡事項を局内へ周知し、職員へ情報提供を行っています。



業務説明会の様子

予算や物品の管理

効率的な予算の執行

業務に必要な予算を精査し、適切な予算要求を行っています。確保された予算は各部署の必要性に応じて配分し、無駄なく効率的に執行できるよう管理しています。

組織を支える契約と管理

局内の契約業務を担当し、必要な手続きを適切に実施しています。物品や備品の調達を行い、業務に必要な資材を安定的に確保するとともに、国有財産の管理も行っています。さらに、庁舎全体の維持・管理を担い、円滑な業務環境の整備に貢献しています。



九州総合通信局所有の施設の管理

Job description

業務内容：情報通信部

情報通信部は、地域課題の解決のためデジタル活用（地域社会DX）の推進を行うほか、電気通信事業者の監督や安心・安全なインターネット利用環境の整備などの業務を行っています。

地域情報化

ICT・デジタルで地域を豊かに

高齢化や人口減少による働き手不足が深刻化するなか、ICT・デジタル技術を活用した新しい暮らし方・働き方・学び方の実現が求められています。
そのためには地域に寄り添ったデジタル社会の実装が不可欠であることから、ICT基盤となる光ファイバ・5G等のインフラ整備を推進し、ICTの利活用に向けたセミナー等を行っています。

地域DXの最新情報はこちら！
QRコードからアクセス ⇒



VRゴーグルを体験する様子

電気通信の健全な発展

電気通信事業者の監督

電気通信事業の登録・届出や監督を行っています。

電気通信サービスに関する相談

携帯電話やインターネットサービス等に関する相談に対して、電気通信事業者、消費生活センター等と連携して対応しています。

e－ネットキャラバン等の実施

青少年が携帯電話やインターネットを安心・安全に利用できるよう、教職員や児童・学生・保護者を対象とした啓発活動（e-ネットキャラバン）を実施しています。



青少年に対する安心・安全なインターネット利用啓発

Job description

業務内容：放送部

放送部は、必要な情報を広く届ける放送サービスの普及促進のため、放送局の許認可や臨時災害放送局の開設支援、ケーブルテレビの推進などの業務を行っています。

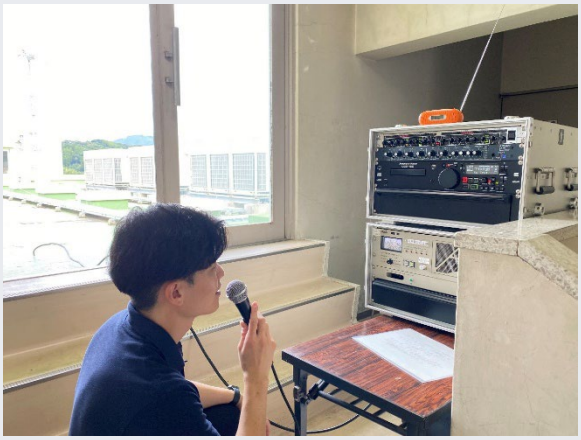
放送局の許認可等

テレビやラジオなどの放送局

国民にとって重要な情報インフラである、テレビやラジオといった放送局の免許・検査を行っています。
また、地域情報や防災・災害情報等を発信するコミュニティ放送の免許も行っています。

臨時災害放送局

災害が発生した際、自治体等が被災地の住民に向けてラジオ放送で生活支援情報を届けることができるよう、放送機器の無償貸与を行っています。



臨時災害放送局の聴取可能なエリア調査

有線放送の登録等

ケーブルテレビ事業者の登録等

専門チャンネル放送に加え、地域に密着した生活・行政情報を届ける役割を持つケーブルテレビに関して、事業者の登録等を行っています。
また、災害が発生した際、被災情報や避難情報を確実に提供できるようにするため、ケーブルテレビ網の対災害性の強化や送受信設備の整備支援を行っています。



補助金を活用して整備された設備を視察

Job description

業務内容：無線通信部

無線通信部は、限りある資源である電波を安心して利用できるよう、電波の有効利用の促進や無線局の許認可などの業務を行っています。

無線局の許認可等

身近で利用される無線局

スマートフォンの普及に伴い通信需要が急増する携帯電話やタクシー等の各種業務用無線など、社会基盤として身近で利用される無線局の免許・検査を行っています。

人命・財産を守るための無線局

航空機や船舶の安全な航行に不可欠な航空・船舶無線、国民の命と暮らしを守るための消防・救急・警察無線、災害時に重要な役割を果たす防災行政無線など、重要な通信を行う無線局の免許・検査を行っています。



衛星通信施設

電波の有効利用の促進

周波数の管理・電波利用の研究

電波は有限な国民全体の資源です。この共有資源である電波の利用状況などを調査し、新たな電波の活用に役立てています。

また、地域のニーズに応じた電波の新たな利活用に向けて調査検討を行い、その成果を地域の電波利用の促進につなげています。



技術試験事務における潜在電界調査

Job description

業務内容：電波監理部

電波監理部は、適正な電波利用環境維持のため、違法・不法無線局の排除や電波の利用ルールの周知啓発活動などの業務を行っています。

電波監視・不法無線局対策

重要無線通信妨害の迅速な排除

社会的に重要な役割を担っている消防・救急無線や航空無線などに障害等が発生した場合は、迅速にその障害源を排除しています。

電波の監視、混信障害対策

電波がルールを守って利用されているか、電波の混信が発生していないか等、電波監視を行っています。

不法無線局の排除

不法無線局は、テレビやラジオの受信に障害を与えたり、携帯電話の通話を妨害したりするなど、暮らしに悪影響を及ぼすだけでなく、警察・消防・防災行政無線など人命、財産に関わる重要な無線に混信や妨害を与える場合もあります。そういった事態を防ぐため、警察などと共同で取締りを行っています。



電波の監視



船舶に設置された不法無線局の排除

電波に関する正しい知識の普及

電波の適正利用に関する周知啓発

電波は、私たちの暮らしや社会インフラを支える重要な資源です。誰もが安心して電波を利用できる環境を維持するためには、電波利用に関する正しい理解とルールの遵守が欠かせません。
九州総合通信局では、説明会の開催や各種広報活動を通じて、電波の適正利用に関する周知・啓発に取り組んでいます。



小学生向け電波教室の開催

電波の安全性に関する情報の提供

携帯電話やWi-Fiの普及により、電波が人体に与える影響への関心が高まっています。電波の安全性に関する正しい知識を国民が得られるよう、電波の安全性説明会を開催するなど、普及啓発に取り組んでいます。また、電波の人体影響に関する不安や疑問に対して、相談対応も行っています。

Job description

業務内容：防災対策推進室ほか

防災対策推進室

リエゾン（災害対策現地情報連絡員）の派遣

地方公共団体の災害対策本部等にリエゾンを派遣し、通信・放送の被災状況を把握し、早期復旧に向けた関係機関との連絡調整を行っています。



リエゾン派遣による災害対策支援

災害対策用機材の貸与

情報伝達手段を臨時的に確保することができるよう、地方公共団体等に対して、移動通信機器等の貸与を行っています。

災害に備えた関係機関との連絡

災害時の対応を円滑に実施するために、平時から電気通信事業者・地方公共団体・自衛隊等の防災関係機関との情報共有・意見交換や防災訓練等を実施して、連携強化を図っています。



陸上自衛隊・通信事業者との共同訓練

サイバーセキュリティ室

サイバーセキュリティに係る普及啓発

サイバーセキュリティの意識向上を図るため、関係機関と連携しつつ、各地域でサイバーセキュリティセミナーやサイバーインシデント演習を開催しています。

サイバーセキュリティ人材の育成

情報通信研究機構（NICT）が実施している、情報システム担当者等を対象とした体験型の実践的サイバー防御演習（CYDER）について参加拡大に取り組んでいます。



サイバーインシデント演習in博多

信書便監理室

民間事業者による信書便サービスに関して、許認可や周知・啓発活動を行っています。

総合通信相談所

情報通信行政に関する全般的な相談対応を行っています。

コンテンツ適正製作取引調査室

放送コンテンツ製作の適正な取引の推進及び関係行政機関、その他の関係者との連絡調整を行っています。

Message

先輩からのメッセージ

8:30　登庁

明日は出張。
まずは1日のスケジュールを確認します。
届いているメールへの返信や電話での問い合わせに対応します。



10:00　定例会議

毎週決まった曜日には、課の会議が行われます。明日の出張含め、1週間の予定や現在対応中の案件を共有します。
抱えている問題があれば助言をいただいたり、課内で解決策を考えたりします。

12:00　昼食

お昼は手軽に済ませることが多いですが、同僚と外でランチをすることもあります。



14:00　打合せ

自治体からの相談対応のため、オンラインによる打合せに参加します。
打合せ後は、理解できなかった部分があれば調べます。打合せ時に作成したメモを整え、関係者に共有します。

16:30　出張準備

明日の出張の最終確認。資料を整え、行程を再確認します。

17:15　退庁

翌日　出張当日

翌日の出張では人生初のプロペラ機に乗って、離島に行きました。空港の近くでは、透き通った海も見ることができました。
子どもがまだ小さいのですが、家族の協力もあり、泊まりの出張にも行けています。





情報通信部　情報通信振興課
係員

採用9年目
教育学部卒

地域のために

私が所属している情報通信振興課で取組んでいることの1つに、デジタル技術の実装を通じた地域社会課題の解決に向け、総務本省で策定された支援施策を地域に届ける役割があります。
人口減少や少子高齢化が進む中、地域社会は交通、医療、教育など多岐にわたる課題に直面しています。そうした地域課題をDXの力でどう乗り越えるか、国として支援できることを考え、時には実際に地方公共団体を訪問しながら活用できる施策を紹介する等、地域課題解決のために貢献できることを日々模索しています。
私自身、学生時代に地域活性化に興味を持ち、地元のイベント等に参加して、地域をより良くしようと活動されている方の話を聞く機会がありました。今の仕事を通じて、デジタル技術を活用した地域課題解決のための支援を行うことで、間接的ではありますが、地域活性化へ貢献できていることに、やりがいを感じています。

QUESTION

Q1　文系でも大丈夫？

今の部署に異動する前は、無線局の許認可・検査業務を担当していました。入局するまでは、無線に関する知識は全くありませんでしたが、充実した研修制度や周囲の方々の丁寧なサポートもありますので、ご安心ください。

Q2　職場の雰囲気は？

幅広い年齢層ではありますが、部署に関係なく気に掛けてくださる方が多いので、仕事のやり方で迷った時にも相談しやすい雰囲気です。

Q3　九州総合通信局の魅力は？

色々ありますが、国家公務員でありながら、転勤が少ないことも魅力の1つです。2年間の総務本省での勤務も経験しましたが、出先機関がないので人生設計を立てやすい職場だと思います。休暇制度を含め仕事と家庭を両立するための制度が充実しており、女性にとっても働きやすい環境が整っています。

Message

先輩からのメッセージ

8:30　登庁

メールチェック、処理が終わった書類の発送、手続きに関する問い合わせの対応を行います。

9:30　出張準備

無線に混信がある旨の申告に基づき、調査に向かう準備をします。

12:00　昼食

まずは腹ごしらえ！
出張中のランチは、九州各地のおいしいものを食べられます。



13:00　調査開始

混信の原因を特定するため調査を開始します。
電波は目に見えないので、いろいろな機器を駆使して調査を行いますがなかなか特定できないことも･･･



3人1組で作戦を練りながら原因究明していきます。



17:15　調査終了

無事に混信の原因を突きとめることができました。



電波監理部　電波利用環境課
主任

採用10年目
工学部卒

楽しみながら学べる

現在の主な業務は、高周波利用設備の許認可を行っています。高周波利用設備というと聞き慣れない言葉ですが、IH調理器やMRI装置、ワイヤレス給電システムなど生活に身近なものがたくさんあり、漏洩する電波が他の無線通信に妨害を与えるおそれがあるため、審査し、許可を行っています。

また、同じ電波監理部の監視調査課の出張にも行き、国民の安心･安全を守る消防･救急無線、重要な社会インフラである携帯電話･航空無線等の社会生活に不可欠な重要無線通信に対する混信妨害の特定排除や、それらの原因となり得る不法無線局の探査等を行っています。

目に見えない電波を探すということもあって様々な機器を扱いますが、充実した研修を通して学ぶことができ、誰でも扱えるようになります。

電波の混信妨害源を突き止め、排除していく使命感･達成感は、大きな魅力だと思います。

QUESTION

Q1　九州総合通信局を志望した決め手は？

官庁訪問の際に知った電波監視の業務内容に強い興味が沸き、その社会的な重要性や責任の大きさに魅力を感じ、ぜひ自分も携わりたいと思い志望しました。

Q2　業務において、やりがいを感じる瞬間はどんなときですか？

目に見えない電波の障害を解決し、感謝された時です。その瞬間、自分の仕事が社会の安心･安全に直結していることを実感し、大きなやりがいを感じました。

Q3　休日の過ごし方は？

ゴルフ三昧です！大自然の中で行うスポーツであるため、美しい景観や新鮮な空気を満喫でき、リラックスしながら楽しんでいます。



Message

先輩からのメッセージ



無線通信部
陸上課
係員

採用1年目
地域共創学部

充実した研修で
幅広い知識と技術を習得

主な業務は、携帯電話の基地局など電気通信業務用に開設する無線局の免許・検査業務になります。電気通信業務用設備は、皆さんの生活に身近な携帯電話の通信を媒介するために必要な設備です。普段はデスクワークで申請の審査をしていますが、応援要員として他の担当ラインの出張に同行することがあります。出張先では、無線設備を近くで見たり、実際に電力等の測定現場に立ち会ったり、そこでしかできない経験をさせてもらっています。

また、研修も充実しており、他の課が免許している無線設備について学んだり、測定機器を扱って妨害電波を探索したり、自分の担当業務だけでなく、九州総合通信局の様々な業務を経験する機会が設けられています。研修を通しての経験は、知識を深めたり、技術を身につけたり、自身の成長につながっていると感じます。

QUESTION

Q1 九州総合通信局を志望した決め手は？

急速に普及が進行している情報通信の観点から地域振興を行うことに魅力を感じたからです。そのような最先端の環境で私も働きたい！と思いました。

Q2 新しく入ってくる方に伝えたいことは？

優しい先輩方ばかりなので、自分のペースで成長できると思います。ぜひ、一緒に様々なことを吸収しながら成長していきましょう。

Q3 休日の過ごし方は？

バレーボール観戦に佐賀によく行きます。普段はパソコンとにらめっこしているので、休日はスポーツ観戦及び推し活で、リフレッシュしています。





情報通信部
電気通信事業課
係員

採用9年目
生物生命学部

ネット社会を守る仕事 ／
安心な通信環境を支える

私は消費者行政の立場から、スマートフォンやインターネットなど電気通信サービスに関する消費者保護業務を担当しています。

具体的には、電気通信事業に関する販売代理店の届出受付や、電気通信事業者と消費生活センターとの意見交換会の運営を行っています。さらに、青少年が安心・安全にネットを利用できる環境を整えるため、九州各地の学校でネットトラブル防止の出前講座の講師も務めています。

講座の対象は小学生から高校生など幅広く、理解度に応じた説明を心がけています。当初は、不安もありましたが、経験を重ね、今では一人で講座を担当できるようになりました。生徒たちに一つでも多く安全な使い方を伝えるため、試行錯誤を続けています。安心してネットを利用できる環境を整えることが使命であり、やりがいとなっています。

QUESTION

Q1 職場の雰囲気はどうですか？

風通しがよく、相談や交流がしやすいです。休暇も柔軟に取れ、働きやすさと安心感があります。

Q2 「やりがい」を感じる瞬間はどんなときですか？

やりがいは模索中ですが、講師としての登壇など新しい業務を遂行し、将来の仕事で経験が生きたと実感できるよう、日々の業務を積み重ねたいです。

Q3 休日の過ごし方は？

2歳の娘と早起きして遊びに出かけます。バスや電車に乗ったり、動物との触れ合いや野菜を収穫するなど、親子で過ごす時間を大事にしています。



Message

先輩からのメッセージ



放送部　放送課
担当チーフ
（係長）

採用22年目
工学部

テレビ・ラジオを支え、社会に貢献する仕事

私が所属する放送課の業務は、皆さんに親しまれてきた馴染み深いテレビやラジオの許認可業務を主として行っています。いつも当たり前のように放送しているテレビやラジオは、報道や教育、娯楽などの番組を提供しており、また、災害が発生した際には被害状況等の情報収集の手段として大変重要な役割を果たしています。

このような放送局を新たに開設する場合や既存の放送局が設備を更新する場合等において、関係法令に定める基準を満足しているか審査し、免許や検査を行っています。影響力の大きい放送局の審査は、非常に正確な判断が求められ緊張感を伴いますが、そんな業務にやりがいを見いだせる方には、ぜひ九州総合通信局をお勧めします。

QUESTION

Q1 係長として大切にしていることとは？

自分のこれまでの経験による知識を、後輩に分かりやすく伝えることです。また、誰でも気軽に意見を出せるような職場の雰囲気づくりです。

Q2 新規採用職員に対して、どのようなサポートをしていますか？

新規職員には所属部署の先輩が指導員として付き、実際の業務を行いながら教育を行っていきます。

Q3 休日の過ごし方は？

中学生の子どもが野球部に所属しているので、試合の応援や審判に駆り出されます。おかげで平日より早起きです。





総務部　財務課
上席企画監理官
（課長補佐）

採用29年目
情報工学科

法律遵守で信頼を守る、やりがいある業務

財務課での調達・契約業務は、法律や規則に従って行われ、これらの遵守が必須です。税金を利用する以上、国民からは費用対効果が高いことが期待されています。このため、効率性と透明性が不可欠であり、契約プロセスは明確かつ正確でなければならないことから、私たちの職場では積極的にインターネットを用いた調達手続の電子化に努めています。また、金銭に関わる業務のため、個々のやりとりにおいては、誤解を防ぐために、明確で迅速なコミュニケーションを心がけています。

業務内容は少しかたいかもしれませんが、職場の雰囲気はとてもアットホームで、協力し合いながら楽しく働いています。未経験の方でも安心して業務に取り組むことができる職場です。

QUESTION

Q1 上席として日々の業務で意識していることは？

楽しく働くためには？を常に意識しています。仕事が楽しければ、モチベーションも上がりますね。

Q2 職員が安心して働ける環境づくりのためにどんな取り組みをしていますか？

積極的にコミュニケーションの構築を図り、お互いにサポートし合える環境作りに努めています。

Q3 休日の過ごし方は？

友人と会ってカフェでおしゃべりすることが多いです。時には、趣向を凝らした素敵なアフタヌーンティーセットで、季節ごとのイベントの雰囲気を楽しんでいます。



Message

先輩からのメッセージ

QUESTION

Q1 九州総合通信局のよいところは？

困ったときにはすぐに相談できる体制が整っており、一人で問題を抱え込む心配はほとんどありません。また、転勤が少ないため、将来の生活設計が立てやすい点も大きな特徴です。

（放送部：男性）

職場のメンバーは基本的に皆優しく、仕事も丁寧に教えてくれる方ばかりです。誰に対しても意見を言いやすい雰囲気があり、安心して働ける環境が整っています。また、ミスをしてしまったときには必ず先輩がカバーしてくれるため、不安を抱えずに業務に取り組むことができます。

（無線通信部：女性）

残業が少なく、優しい方ばかりで働きやすい職場です。福利厚生も充実しており、無理な仕事を強いられることもないため、安心して業務に取り組むことができます。

（情報通信部：女性）

Q2 職場の雰囲気はどうですか？

誰かが孤立するようなことはなく、常にお互いを気にかけ合う風土があります。国家公務員というと堅苦しいイメージを持たれがちですが、実際には和やかで温かい雰囲気の職場です。

（放送部：男性）

とても雰囲気の良い職場で、特に現在の部署では、困ったことがないかすぐに声をかけてくださったり、分からないことがあれば課の皆さんが協力して調べてくださるなど、日々支えられていると感じます。上下関係も良好で、定期的に先輩方とランチに行く機会もあり、温かく働きやすい環境です。

（無線通信部：女性）

Q3 入局した後、技術的な知識に関して実際はどうでしたか？

入局前に情報通信の専門知識は必要ありません。それよりも、対人スキルやビジネスメールの作法など、社会人としての基本を身につけておくと役立ちます。情報通信の知識は、入局後の研修や日々の業務を通じてしっかり学ぶことができます。

（工学部出身・放送部：男性）

確かに聞き慣れない用語や考え方に触れることは多いものの、これまでも多くの文系出身の先輩が問題なく乗り越えています。実際の業務でも、技術的な知識だけを必要とする場面はそれほど多くありません。

（教育学部出身・電波監理部：女性）

私自身も文系出身ですが、上司や先輩方が丁寧に教えてくださり、研修も充実しているため、技術的な面について心配する必要はほとんどありません。

（法学部出身・無線通信部：女性）

Q4 職場で苦労したところは？

電波法の習得や、業務で使用しているシステムの複雑な操作には慣れるまで時間がかかりました。また、専門用語が分からなかったり、技術的な計算が難しく感じることもありました。

（放送部：男性）

初めての業務に臨むときには戸惑うことも多いのですが、先輩方がとても優しく丁寧に教えてくださるため、その点では大きな苦労を感じずに取り組めています。また、個人的には電話対応や施策説明といった対外的な業務が少し苦手で、克服できるよう日々努力を続けています。

（情報通信部：女性）

Career advance

採用後のキャリア

係員級（20代）

指導員による実務指導や様々な研修を通じて、業務に携わります。3年目には総務省本省で一定期間（2年間予定）の勤務があります。

係長級（30代～40代）

中堅職員として、携わる業務もより責任が伴うものになります。また、係員職員のサポートにも関わる立場になります。

課長補佐級（40代～50代）

より直接的、具体的に施策に関わっていく立場となります。経験を存分に活かし、課長のサポートや部下の指導にも携わります。

課長級（50代～）

課室の長として業務遂行の指揮をとる活躍を求められるとともに、管理職としてのマネジメント能力も要求されます。





Work life balance

福利厚生・ワークライフバランス

職員一人ひとりが「働きがい」と「働きやすさ」を実感できる職場へ。

～多様な人材が成長し、活躍できる環境づくり～

総務省では、職員一人ひとりが公務に誇りを持ち、意欲高く働ける職場づくりを推進しています。
キャリア形成や能力開発を支援し、「働きがい」を高めるとともに、テレワークやフレックスタイム制度、育児・介護との両立支援などを通じて、「働きやすさ」の向上にも取り組んでいます。また、生成AIの活用をはじめとする行政DXを推進し、多様な人材がそれぞれの能力を発揮できる環境づくりを進めています。

学びと成長



各種業務内容・役職に応じた研修を準備、オンライン研修も整備

業務における幅広い学びのニーズに応えるため、研修所（東京都）を利用した集合研修、テレビ会議システムを活用したオンライン研修、業務上で使用する各種機器の使用研修、許認可を行っている最新型無線設備等の実地見学など、各種業務内容・役職に応じた学びのコンテンツを取り揃えています。育児・介護等で実地研修の参加が難しい職員のために、オンライン受講可能な研修も取り揃え、場所を選ばず全ての職員が学ぶことのできる環境を整備しています。

柔軟な働き方に対応した勤務時間制度



ICT（情報通信技術）を利用し、時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方

私たちの職場では、自宅勤務を可能とするテレワークを推進しています。テレワークの推進にあたり、オフィス改革としてペーパーレスや電子化の推進・オンライン会議の促進等により、テレワークが一般的な勤務形態の1つとして定着しつつあります（令和7年テレワーク実績：平均1回/月）。テレワークは、ICTを利用し、時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方であり、職員が最も効率的な仕事ができる場所を自主的に選択し、生産性の高い働き方につながっています。働く時間と場所の柔軟化にも取り組んでおります。ワークライフバランスの実現を図るために、公務の運営に支障がないと認める範囲で「フレックスタイム制（コアタイム有）」の制度も整備しています。

Work life balance

福利厚生・ワークライフバランス

休暇・福利厚生



心身ともに充実した状態で意欲と能力を十分発揮できる環境を実現

私たちの職場では、職員が有意義なプライベートを過ごし、充実した心身で働けるよう、休暇制度を設けています。毎年20日分の有給休暇が付与され、趣味や家族との時間を確保できます（令和7年 年次休暇取得日数：平均17.9日/年）。出産・子育てには産休・育休、病気や怪我には病気休暇、家族の介護には介護休暇などが利用可能です。（詳細は人事院HPをご覧ください。）
福利厚生として、健康診断・ストレスチェック、共済による給付制度、住居宿舎の貸与などがあります。

両立支援制度



仕事と生活のバランスを取ることにより、長く働き続けることができる制度を整備

妊娠・出産・育児・介護などのライフステージの変化を受け入れ、働き続けるためには、各種休暇を取得する、勤務時間を早出/遅出に切り替えるなど、必要に応じて、仕事と生活の両立に向けた制度を利用することが大切です。私たちの職場では、 職員の希望や事情に配慮した働き方ができるよう、職場環境を整備しています。
特に、近年は男女問わず育児休業の取得率が100％であり、男性職員であっても育休を取れる環境となっています。

制度利用者の声



電波監理部
監視調査課係員
（平成30年採用）

令和6年11月及び令和7年3月で計2回育児休業を取得しました。約1月ずつの取得でしたが、職場からも遠慮せずに取得した方がいいと後押ししてもらったため、男性でも非常に取得しやすい環境だと感じました。また、一般的な有給休暇以外にも、男性側には「配偶者出産休暇」や「育児参加のための休暇」といった特別休暇が設定されており、出産予定日の前後には様々な休暇制度を流動的に取得することができました。出産や育児は一生に何度もあることではないので、貴重な機会を家族と過ごすことができ、職場の理解と配慮のおかげで良い経験ができたと感じています。



総務部
財務課係員
（平成30年採用）

令和5年5月に第二子を出産し、約1年育児休業を取得しました。仕事と育児の両立のため様々な制度を利用しました。妊娠後期は、お腹が大きくなり負担が大きかったため、通勤緩和のための職務専念義務の免除（有給）の利用。復帰後は、保育園の送迎時間等の確保のために、休憩時間の短縮（30分）、子が0歳の時は毎日保育時間1時間（有給休暇）、子が1歳を超えてからは育児時間30分の取得、テレワークも行いました。制度以外の面では、復帰後は慣れた部署に配属していただき、業務面でも調整が行いやすく周囲の理解と配慮がある職場だと感じています。

- 両立支援制度の詳細はこちら
  参考：**人事院 妊娠・出産・育児・介護と仕事の両立支援のページ**

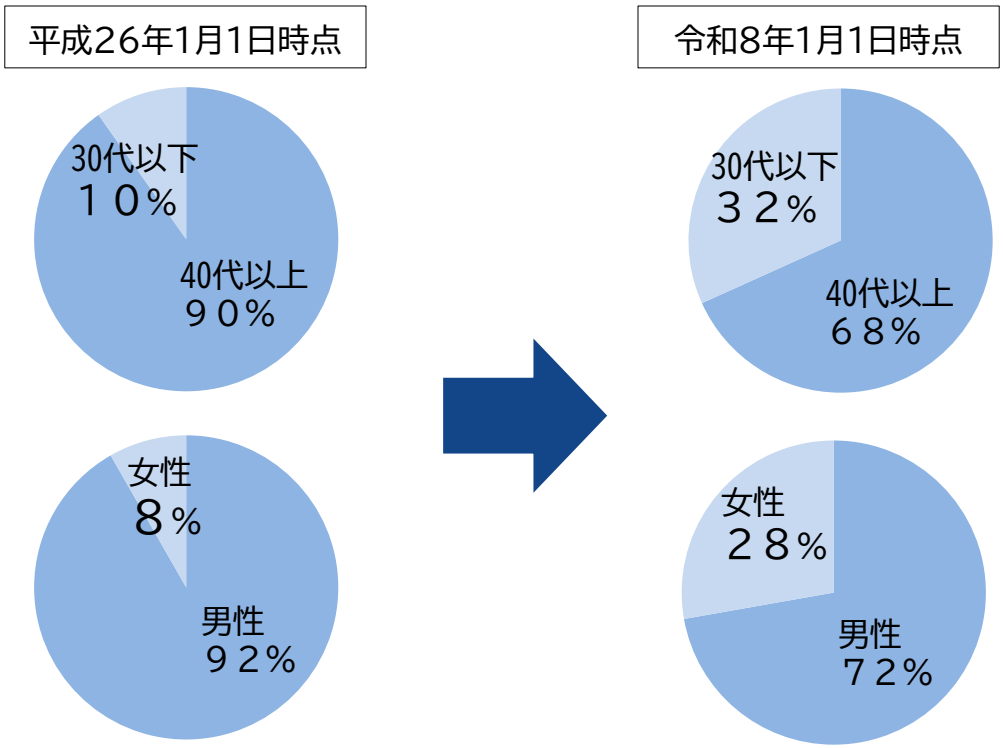
- 勤務時間・休暇制度
  参考：**人事院HP**

Question and Answer

Q&A

Q. 職員構成を教えてください。

A. 令和8年1月現在、約130名の職員が働いています。
近年は、若手職員、女性職員の割合が増えてきています。



Q. 採用実績を教えてください。

A. 直近5年間の採用実績は以下のとおりです。(国家公務員採用一般職試験(大卒程度))
なお、直近5年間の採用者における離職率は0%です。

	令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
行政	2	2		3	1	3	1	3	2	3
技術	1		1		1		1			1

Q. 勤務地はどこですか？
最初に配属された部署でずっと勤務するのですか？

A. 熊本市西区春日の**熊本地方合同庁舎のみ**です。本人の希望や適性などを考慮し、およそ2～3年ごとに別の部署へ異動することとなります。なお、採用から2年経過後に、総務省本省で一定期間(2年間の予定)の勤務があります。

Question and Answer
Q&A

Q. 情報通信の専門知識が必要で難しそうですが・・・？

A. 総合通信局は情報通信分野の幅広い業務を行っていますが、採用直後、総務省本省や情報通信政策研究所（東京都国分寺市）において約1ヶ月間の新規採用者研修があるほか、関係する各分野の専門研修制度がありますので、業務を行いながら専門知識を習得することができます。



情報通信政策研究所



可搬型放送設備実習

Q. 残業はありますか？

A. 業務の効率化を行い、超過勤務時間の削減を図っています。
令和7年の実績は、平均5.8時間/月です。※係長層以下（再任用者除く）

Q. 出張はありますか？

A. 九州内の地方自治体、大学、企業などへの訪問、無線局の検査、電波監視などの出張があります。部署や時期により変動がありますが、少ない部署（総務部）では平均0．1日/月、多い部署（電波監理部）では平均3.5日/月程度出張しています。



インターネット利用啓発



電波監視

Address

所在・採用連絡先

採用連絡先

〒860-8795

熊本市西区春日2-10-1

熊本地方合同庁舎A棟 11階

九州総合通信局

総務部　総務課　人事係

096-326-7809



交通アクセス
JR熊本駅より徒歩5分
市電二本木口より徒歩1分
二本木バス停より徒歩2分

➢ 採用情報はこちら
九州総合通信局HP
採用情報

